

# が ん ば

報 告 部  
友 友 会  
小 育 三  
島 発 行  
報 部  
廣 報 部

〔第61号〕



## 大混雑：

### 総決算は？

## 三月に想う

学校長 江 島 九 香くよし

「光陰矢の如し」で本当に月日の過ぎるのは早いものです。いつのまにか本年度も終りになりました。

落成であり、その祝賀記念としてのパザールであります。何日も前から計画をなされて、今日は東、明日は西と走り回り、物品集め、値定め、係配当及び準備と目まぐるしいばかりの活動が続けられました。その誠意が通じて当日のパザールは大成功裡に終わったことは皆さんの記憶にまだまざと残っているところでありましよう。

今、静かに一年をかえり見ますと、いろいろなことが走馬灯のように浮かんで参ります。育友会の健全な歩みのために夜おそくまで計画づくりとされた役員会のこと。会員の健康づくりと親睦のために、足腰をさすりながら頑張ったパレー大会のこと。児童たちの健康づくりと非行防止のために猛暑の中で流れる汗に顔の汚れも気にかけず、声はずませた球技大会のこと。夏の夜のひとときをわが子の望ましい生活指導のためにPとTの話し合いに一生懸命になった町内訪問のこと。雨の日も風の日も子どもの安全のために街頭での交通指導をやっていること。バスにゆられながら先進校の視察に出たこと。寒い体育館での講演。給食試食会。会報原稿に頭をいためたこと。運動場及び遊具の整備等々。数限りない育友会活動をやり遂げて来ました。なかでも一番苦労が多かっただけに印象の強いのは、新校舎

日々多忙な育友会の皆さんが暇を費して何故このようなことを実施するのか、お一人お一人が明確にとらえていることが大切であります。それは汗にまみれながら子どもたちと共に笑い、共に拍手を送りながら肌のふれ合いを通して心を通じ合う大切な教育であるからです。

子どもたちの教育を親たちは、こんなにも頭をいためたながら考え、手をつなぎ、心と心を通じながら頑張っているのだという、子を想う親の生きざまを、愛する子たちの目に映し出させる時に、筆舌に尽し難い親子の暖かい絆が結ばれていくからであります。

子どもたちの教育を親たちは、こんなにも頭をいためたながら考え、手をつなぎ、心と心を通じながら頑張っているのだという、子を想う親の生きざまを、愛する子たちの目に映し出させる時に、筆舌に尽し難い親子の暖かい絆が結ばれていくからであります。

# 新校舎落成祝賀バザー 大盛況のうちに終わる

## 教育的善意におすがりして

会長 前山 四郎

育友会の皆様には日夜お子様方の健全育成の為、御努力の事と存じます。

焼失した木造二階建て校舎の跡に、三階建ての立派な校舎が完成いたしました。私達育友会は校舎落成記念の事業を模索致しました。より多くの会員の方々が参加出来、かつ祭的雰囲気を持って行なう事で、学校と育友会、地域の方々との関係をより密接にす

る事が出来る行事は「バザー」以外にないとの考えに立ち、代議員会におはかりし、承認をいただきました。この趣旨を町内会長会・同窓会の方々にもおはかりし、御協力をあおぎました。

年間計画にない行事、白山地区あげての行事の為に代議員の方々を中心にして、数多くの会議が持たれました。無理な出品にならないよう、各

御家庭で贈答品などねむっている品物があれば、それを提供していただく事をバザーの基本として、地区の商店商社からの提供をおおぐことになりま

## 意欲的な取り組が より強いきぎずに

副会長 芝田 扶実子

百余年の歴史と伝統に輝やく三小も、老朽が目立つようになり、一日も早く校舎改築をという声が高まりました。

五十四年十一月末に、同窓会、町内連絡協議会、育友会で、校舎改築促進委員会が結成され、島原市当局への陳情など努力を続けていたのに、五十五年一月十三日の不慮の火災で焼失してしまい、大きな打撃を受けました。

あれから一年、市当局のご尽力を得まして、五十六年一月十四日にすばらしくモダンな鉄筋三階建ての新校舎が落成しました。

そこで、育友会では新校舎落成を記念して、健全な児童の育成に何か残るものをと、協議して、二月十五日祝賀バザーを開催することを決定致しました。残す所一ヶ月間の限られた日数で、何回か会合

を閉き常任委員会、代議員会会で実施計画案が作成されました。町内代議員による出品物の取りまとめ、会場運搬係、販売会計係・連絡係・食べ物係・渉外係・事務局と責任者を中心にして、精力的に取り

くんでいただきました。

二月十五日バザー当日は絶好の晴天で、午前九時の開始でしたが、八時すぎには、お客さんの行列が出来るありさまでした。

会員のみなさんや商店からの善意ある品物が、体育館に山と積まれましたが、一時間足らずで売り切れてしまう様

また、食べ物コーナーの方にも長い行列が続き、食べ物コーナーの役員の方や連絡係の人達は、テンヤワヤの忙がしさに、うれしい悲鳴をあげていました。

午後一時からは、お楽しみオークションを開きました。爆笑が飛び交う中で無事終了し、午後二時には、残品なしの成果を納めることができました。ホッとしました。

この祝賀バザーにより、学校当局と育友会員はもろもろ地域のみなさま方との絆がよりいっそう強まったように思います。

みなさま、どうもありがとうございました。

# 心配は取り越し苦勞に

副会長

佐久間

ガクジ

新校舎落成記念事業の一環としてのバザーも会員の皆様の献身的な御奉仕により、大成功をおさめることができました。

出品のおねがい、品物とりまとめ、食券の販売など何度も町内を回られた代議員さんや指導員さん、本当に苦勞さまでした。

協賛のおねがいに校区内外商店・商社等を回られた涉外担当の方々も本当にご苦勞さまでした。

また、会場設備・運搬・販売・会計・連絡等で精力的に活動された方々にも心から感謝いたします。

食べ物コーナーを受けもたれた皆様には、器具の手配、材料の仕入れ等すべての作業をおまかせしたわけですが、それだけに大変な苦勞をかけたことと思います。事務局を担当された皆様には、搬入が始まってからの約十日間は連日学校にいられて、予想をはるかにオーバーして集った品物の受け入れ、整理区分け、値段つけなどに大奮闘されました。また、バザー当日は多数



の先生方にも御協力をいただきありがとうございます。私にとりまして、このように大規模なバザーは初めての経験でありまして、「準備に手おちはないか」「当日負傷者が出るのではないか」「残品が出たらどうしようか」などと、いろいろ心配もしましたが、皆様方の御協力により、このような心配がすべて取越し苦勞に終わりました。本当に感謝しております。

一人ひとりの力は小さくても、それが育友会の行事の中で一つにまとまった時、このように大きな力となることをあらためて認識しなおしたいです。

## 新校舎落成祝賀バザー一総決算

島三小育友会事務局

1. 体育館に並べた長机 ..... 185 脚
2. 出品数 ..... 約4,850 点
3. 協賛商店 ..... 124 店
4. 開門前並んだ人数 ..... 約430 人
5. 一番はじめに並んだ人の時刻(開門9時) ..... 7時55分
6. 品物売りきれた(約9割)時間 ..... 35分
7. たべたうどん玉 ..... 2,100 玉
8. ぜんざいに使った砂糖 ..... 70 kg
9. ぜんざいに使ったあずき ..... 4.0 kg
10. お金のうごき

○ 収益金二、一六四、六〇〇円

項目	金額
事務消費費	四三、五〇〇円
印刷費	二五、〇〇〇円
材料費	一七四、七〇〇円
燃料費	一四、〇〇〇円
道具・器具費	一三、九〇〇円
写真費	二、六〇〇円
借用費	二〇、〇〇〇円
合計	二九三、七〇〇円

○ 支出

項目	金額
食券売り上げ額	四一四、八〇〇円
バザー売り上げ額	一、八七二、五〇〇円
現金寄付	一七一、〇〇〇円
合計	二、四五八、三〇〇円

○ 収入

事務局より

思いをこめて値段づけ

火災から一年余、今では立派な新校舎も出来、落成式も終わり、子ども達も新校舎での授業に心弾ませていることと思えます。

そんな中で、育友会員から声がかかり、自分達の手で何か学校に記念になる物を贈りましょうということ、バザーを思いたち、定期的に一番寒い時でもありましたので心配でしたが、予定通りにことが運び、当日も天候にも恵まれ、盛大な裡に終ったのではないかと、嬉しく思いました。

ふりかえってみますと、皆様から、つぎつぎに寄せられてくる沢山の品々を見ながら皆様の暖かい御協力に目頭がジーンとする思いをいたしました。預り物の品に値段を付けるのに、出された方々の希望する値段が付けられておらず腹立たしさを感じたことと思えます。我々も一品残らず、多くの方に喜んで買っていたことを願いながら付けました。お陰様で一時間ちょっとで殆んど売れましたこと

福島 一美

は、皆様のお陰だと感謝しますとともに、ホッととした気持ちでいっぱいでした。

役員の方々には、特に買物品も出来ず、気の毒だったと思います。

この準備期間中、感じたことは、担当者各自が夫々真剣そのものだった。ほんとうに人間らしい、素晴らしい姿を見せて下さったような気が致します。



「安い」を第一条件として

多くの方々の協力でバザーが大成功のうちに終了しました事を、お慶び申し上げます。

バザー当日、朝早くから長い行列が出来、開場と共にまたたく間に品物が売れてしまった時は、なんとも言えない嬉しさと安堵の入り混じった複雑な気持ちを味わいました。七・八日を各家庭から運び込まれていく品物をみて、さてどういふ値をつけていけばよいか、いろいろな意見が出され、検討されました。

原 口 美 蓉

まず、品物をおる程度種類に応じて、いくつかに分類することから始めました。

バザーは「安い」ということが第一の条件となります。ですから提供して下さった方々には申し訳のないような価格をつけました。単位もほとんど百円単位といたしました。各町内からは、ほとんどの品物が十一日までには運び込まれましたので、十一日からは会場に値段別に並べ、値段のバラツキの調整と各商店より

先生方の協力に感謝

岩崎 暁子

校舎落成祝賀バザーも成功の内に済み、何か肩の荷がおりたような気持ちです。

私の仕事は、事務局という事で最初は何をどのようにしいいのか、わからないうちに準備がはじまりました。まず、受領書、ポスター作りからはじまり、幸いにも会員の中にいらした城代先生にお願いに行き心良く引き受けて下さり、お陰様で大変すてきなポスターが出来上り、そ

だこうという事になりました。お陰様で、大変な売れ行きで、一品たりとも残すことなく終り、十日間余り毎日弁当持参で学校へ行き準備をした訳ですが、皆様が大変協力的だった事が最大の喜びです。それに先生方もいろいろお手伝いして下さい下さって大変うれしく思っています。バザーも今年度の最大の行事でしたが、それによって、会員の和も深まったと思えます。これから増々良い三小に育てるために皆んなで力を合せて行きましょう。



# バザー本会場より

## おつりをさがすのに大あわて

古井 久 輝

各町内や商店からどのような品物が、どれだけ集まるものか、かいても見当もつかず不安でしたが、体育館に並べられた日用品の数々、理科室の美術、手芸品、それに新校舎前の中庭に並べられた品物を目の前にして、はたしてこれだけの品物が売れてしまうのだろうか。残りはしないか。残った後の処分は、またそれらの商品をどのように陳列し

## 足が震えた



### セリ

成瀬 国 春

体育館の会場は、たくさんの品物で会場が狭いという程でした。万一売れ残ると、どうしようという声も耳にしませんでした。たくさん品物が短時間の間に売り切れたのも、日頃の育友会の方々の関心がいかにバザーの成功を思う気持ちと協力の表われと想う次第です。

連絡係で各会場を回っている声は、スピーカから流れる美声で、午後一時から体育館に於て、家具類・自転車・その他の品物を「セリ」ますというアナウンスでした。大勢の人が集まり、会長さんよりあいさつがあり、いよいよセリ開始。セリ人に指名され最初の一声を出すまでには、足が震え宙に浮いている感じでした。やがて一品一品とセルうちにあちらこちらから競り上げる

最初の心配も吹きとんでしまいました。また、会計においても一人の方が幾つも抱えて一度に何人もの方がこられるので計算やおつりをまちがえないように気をつけ、気ばかりあせつて感うこともしばしばでした。商品票とお金がお金入れの箱で入り混じり、おつりを探すのにあわてたことも何度かあり、途中で分けたりするなどの短い時間に忙がしかったような気がします。

育友会の方々から「ご苦労様。」「大変ですね。」の言葉をかけてられ、皆様のご協力に感謝しております。

声……。高値のうちに競り落されました。その中で一つ心に打れたのは、会員による一枚の「タコ」はセリ値の倍もする値で引き取られました。他の方も是非ほしいと言う声が多かったようです。もう少しいろいろな品物をセリにかけていたならばもっと、かわった形でのバザーの楽しみ方が出来たのではないかと反省させられる事もありました。

二月十五日という一日が親子のふれ合い、また、多くの人々のふれ合う機会が出来、楽しかった一日を一生忘れられない思い出として、歴史の一ページに記されることでしょう。

# 食べ物コーナーより

## 「タライ」が「ナベ」に変身

山口 ヤス子

あの長い行列をさばくためにみんな一生懸命でした。テントの下に原始的な調理室コンロは地べたに置いたり、机を台にしたり、新しい金タライがなべに変身のすばらしい調理室、部屋の中から「ハイ何杯」と声がかかると、下の方から一斉にうどんをお湯につけて振る、時々振りすぎに泥だらけになることも度々、ネギ・蒲鉾・だし入れと忙しいこと、お客さんの手に渡るまで腰を延ばすひまなど全くありません。今度は、お湯が沸かない、給食室へかけ込む、お湯をバケツで運んで来る。

このくり返しが続いて、フット気がついてみるとみんなの足もとは田植をしたように泥がハネて小横幸一郎先生などが一番ひどかったようです。ぜんざい・うどんのだし汗などは前日に給食の職員さんなど準備してもらい、味つけの方もお願ひしてもらいましたので値段も味付けもみなさんに気に入っていただけたと思います。



残りそうになつたうどんやぜんざいを五杯も食べて協力して下さった方もあります。最後には、うどんの押し売りまで始まり、とうとう二、一〇〇食売り切れました。

みなさんのお陰です。

食べ物コーナーを受け持の私達は食券の発行から始め、材料の手配のため会長さんを引きつぱり、うどん屋さんすし屋さん廻り、鍋やうどん茶碗の借入交渉と廻りました。今日中に済まない時は、明日と何日もかけ廻り、会長さんの体がいづくつあつても足りないのでは？と会長の張りポテを作つてそのハリポテを持つて廻るうかなど冗談をいい乍ら、楽しい一時でした。

# フコ指導で本場の香り

山下 睦子

バザーのコーヒー部をやつて下さいと話がありました時、私が出るだろうか心配致しましたが、毎日飲んでるコーヒーの事であり、かつて私もコーヒーの国ブラジルへ行っていた時もあり、何かの因縁であろうと引受けました。当日早朝より風車さんが御指導に来て下さり、いろいろと教わりはしたものの、帰られた後、伊藤先生、中田先生と顔見合せてコーヒーを計り、タイムと腕めっこという

感じてました。皆様「おいしむ」といって頂き、二杯、三杯と飲んで下さった方もいらしゃいました。

ただ、券が発行されず、一般の方で戸惑われた方がおられたと聞かされ、そのことだけ心残りが致しております。

ぜんざいの部と同室で、十時前に誰かが「体育館は空っぽヨ、もうナンなカノ」の声に会員一同「よかった」と心の中でそう思ったに違いありません。途端にぜんざい部の

# 中年美女(?)で甘さ倍増

斉藤 明子

三小における初めてのバザー。馴れない者ばかりで、準備の段階では、見るもの、聞くもの危っかしく、頼りなく一体どうなるのかと思っておりました。ところが、これが大成功の内に終了し、改めて三小の偉大さを認識しております。

ぜんざいコーナーにしてもほとんど初顔合せのメンバーなのに和気藹々と楽しい半日でした。餅は洗った方が粉っぽくなくてよからうと、ざる

一杯洗ったところ、ベタベタとくっついてしまったり、沢庵を盛りすぎて後の方ではたりにくくなったり、砂糖を追加したら餅と同じ位のかたまりになって、餅と間違えたり、失敗もずい分ありました。最終的には千二百杯ほど売れており、無事にすんだ事を皆で喜びました。ぜんざいそのものは、給食室で作ってありましたので、売る方の仕事は、係の者六名ほどでよかったです。給食室からの運

方から「サ食うた、サ食うた」と初市顔負けの売り込みに、負けてはならじと、「サ飲んだ、サ飲んだ」とこちらも大声を張り上げる始末。

和気藹々の内に一つの目的に向って皆で協力し乍らする仕事の素晴らしさを肌で感じ、今回のバザーが無事成功の中に終りました事は、諸先生、育友会父兄一人一人の協力があつたればこそと確信しております。

学校側、育友会側共本当に御苦労様と申し上げます。

最後にコーヒー部に全面的に御協力頂きました「風車」さんに皆様と共に御礼申し上げます。終りたいと存じます。

搬が大仕事です。そこで、運搬係を探しに行つたのですが、運悪く(運よく?)、スカウトされたのが中島先生、きつと内心、何の因果かと、押しになった事でしようが、押しの強い中年美女?に囲まれて、にこにここと、何度も往復して、最後までつきあって下さいました。汗びっしょりの中島先生に私共一同心から感謝しております。

最後に一言付け加えるなら、食堂にする教室まわりだけでも、子どもたちの参加を頼んで、前日(または前々日)に十分掃除しておくべきだったと感じました。

# 手作りの品が売れて一安心

代議員さんよりバザーに手芸品との声がかかり、「短期間で出来るかな」と思いましたが、近所の人に声をかけると心良く引き受けられ、早速話し合いから手もちの布などもちより、毎日限られた時間でしたが楽しくおしゃべりしながら数多くの作品が出来上りました。

「買ってくれる人がいるかな。」当日は、全部売れていてホッとしました。これも子ども達の幸を思つて成功したのでは。会長さんはじめ役員さんの御苦労は大変なものだったと思います。本当に深く感謝致します。

豊南育友会一母より

○新校舍玄関でおじいさんとおばあさんの話

○キレかなア、丁度ホテルんごたるよ、ホテルンにヤ行つたところ、ヤなかばってん、おるも行つたところ、ヤなかばってん、キレかなア、足もとを見るよ、足注意、思え、ホテルは土足、カ。

○バザー前日霊丘地区の二、三人にバザーを大きく宣伝、当日10時ごろ子どもづれで来る。

○品物は何アもなかとん、うどん券とコーヒー券を差出し、ただ、謝るばかりでした。

○事務局室で雑用中、子どもづれの婦人二人が入つて来る。

事務局の会員さんのカバン、ハンドバック、上衣を品定め、これは売り物ではありませんよ。二人の婦人、ここは違ふんだって……。

何でも売れた一日でした。

# バザー当日こんなことが

事務局室で雑用中、子ども



### 町内育友会より

## 廃品回収で協力

靈南 片山 千代薫

靈南町育友会は、三小育友会主催のバザーに協力するため、一月十三日に育友会を開き、協議しました。

(一)子ども会として

イ・廃品回収をして、その益金をあてる。

ロ・ポスターを皆でかき、町内に掲示する。

(二)育友会として

イ・生活指導員が各家庭を訪問し、品物の供出等をお願いする。

ロ・回収方法を細部にわたって検討。

ハ・廃品回収の益金を元にしてバザーの時に売れる物を作る。

(三)町内会に対して

イ・町内会議を開いてもらい協力を要請する。

ロ・各班長を中心にして、品物を集めてもらう。

以上が決まり、早速行動にうつりました。

土曜日の午後には、子どもたち全員と父兄の有志の協力で廃品回収に取り組みました。

その益金は、縫ぐるみや人形・リボンフラワー・お手玉・針山・給食袋などの材



料代にあてました。お母さん方の協力で、心のもった沢山の作品ができあがりしました。(廃品回収の益金だけでは不足しましたのでお母さん方に材料費を一部負担していただきました。)多くの父兄と特に三年以上の子ども達が一致協力してバザー成功のために活動しました。また、町内の方々にも廃品回収や物品供出に快く協力していただきましたことを嬉しく思っています。

## つぎから限定販売に

緑町 藤井リワ

新校舎落成祝賀バザーも、無事大成のうちに終って、ほんとうに良かったと喜んで一人です。

十日前から準備のために努力して下さった方々のお陰だと感謝致しています。

町内の人達も気持ちよく沢山の品物を出して戴きました。

## こんんちは、お元気ですか

### 新校舎に胸が熱くなる想い

有馬隆子

一月十四日の新校舎落成式に出席させていただきました。あの「雨降り校舎」の片鱗も思い出せぬ程の素晴らしい三階建て。各教室の一ツツに新しいアイデアや設備が見られ、我が子は卒業してしまいいこのモダンな校舎で学ぶ機会には恵まれませんでしたが、何かしら喜びで胸が熱くなるものを感じました。

私の二人の子どもも三小を巣立ちました。いつもトイレのこと、給食運搬のこと、家庭科調理実習等の不便さ、不自由さを訴えておりました。が、新校舎を見学して来た息子が友人達いわく、「よかねバッチン何でもそろうて。よ

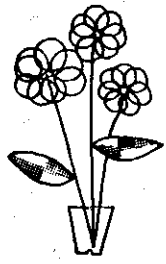
新校舎落成記念としてバザーをやってもらって大変良かった。いい思い出だったとおほめの声、完成したばかりで何かと忙しい時にしなくても、もう少し時期を遅らせても良かったのではないかと、なごら二時までになつていたの

に九時半に来られた人達は何もなかったのが残念でした。お一人様何コとすべての商品限定に販売していたら、体育館も大ぜいの人達に長い時間楽しんで戴けたのでは、ないかと思っています。でも、参加された育友会・白山地区の皆さんは校舎完成バザー成功を心より喜んで居られると聞いております。

開催されるに当りましては、それぞれ時間と労力を惜しまなく提供して下さいましたことに感謝することも忘れてはならないと思います。

昨年の校舎火災の折も会員の方々はもとより先生方や地域住民の方々の暖かいお力添えで支障なく、今日を迎えられましたと同じように今回のバザーも一人一人の協力という美しい寄附により得られた大きな収穫だと思えます。

今後ますます「協力」をおしまれることなく三小の発展に育友会活動の充実にあげみ下さることを念じております。



# 他地区との交流も有益

生活部

今年度の生活部の活動状況を総括的にご報告します。

一、新湊子ども会育成会指導者との交流会を行ないました。

新湊では、町内ぐるみで子ども

の指導に当っており、大人と子ども

の融れ合いが親密で、競や非行防止に成

功している実態がわかり大変参考になりました。各町

内がこうした進んだ町内との

交流を深められんことを願うものです

二、生活指導方法の研修では、非行の実態とその防止策、

競についての講演・室内ゲームの講習会

等を開きました。代議員は勿論、町内指導員の方々も

多数出席されました。三、生活標語の募集においては、多くの応募があり、モ

片山 千代薫

ラルの向上に大変役立ったと思います。

なお、親子ペーパーで応募していたたいりしたら、より一層の盛り上がりがあるものと思います。

四、夏季休暇中の夜間巡回では、多数の方々の参加をうけ、危険箇所・非行の巣となりやすい、たまり場などをチェックしました。

多くの町内に問題となる所

## 多数の参加者で

### 各行事活発

学級部 古井 久輝

本年度は、学級代議員研修会、育友会親睦、講演会を学級活動の年間行事として掲げ

きました。毎回多くの方が出席され好評のようでした。

授業参観後の各クラスの懇談会を講演にあて、高・中・低学年にわけ、講師の方々に

子ども教育、しつけ、また立場からお話が聞け、それぞれの

方からも質問など多く出て、それにわかりやすく丁寧に答えてくださり、為になること

があることに気づきました。巡回は、今後も続けられることを切望します。

五、町内懇談会と巡回映画は

生活部と教養部の主催に学校側が協力という形で行ないましたが、父兄と先生方

とが直接膝を交えて話しあえることができ、大好評のうち

に終わりました。以上、簡単に意を尽しませんが、報告にかえます。



## 有明町給食センターを見学

保健給食部

校舎改築のため、試食会が出来ませんので二学期には、

有明町の給食センターの炊飯施設の設備を見学して参りました。

炊飯施設の設備が完成したのが五十四年九月ですから最新の設備が施されており、

炊飯に関しては、全てオートメ化されて人手を要する所は余りありません。先づ、「米

サイロ」に袋から出して米をだき和気あいあいと、一年間

過ごすことが出来ました。今後毎月一度の授業参観、懇談会に出席され、一人でも

多くの方と顔見知りになり、子ども達の健やかな成長を見守ってゆきたいものです。

最後になりましたけど、会員の皆様のお陰をもちまして無事全部活動を終えることが出来ましたことをお礼申し上げます。

(会員の皆様ご苦労様でした。)

山 口 スヤ子

入れると「送米機」へ行き、連続洗米機で洗われ「連続炊飯機」で炊飯が吹き上り、出来上がった炊飯がベルトに乗って「飯缶」へと行ったように

仕事かスピーディーに進む仕組みになっていきます。フライヤーがあり、自動で仕上って来きます。おかずを入れる食

事も保温食缶が使用されていて蓋も密封式ですから汗がこぼれたり、さめたりしないような立派な食缶です。一人当りの炊飯の量は低学年で「九〇グラム」高学年で「一〇〇グラム」で島原市の場合がそれぞれ「一〇〇グラム」づつ少ないようです。給食費は、小学校で一食当り「一五〇円」で月額「二、六〇〇円」です。から三小の場合より「一〇〇円」程安くなっています。有明町の場合野菜の産地で新鮮なものが安く入荷するからだとのことです。見学の日は米飯給食でなかったため試食出来ず、残念でしたが、食パンとぜんざいなど試食させてもらいましたが、全部食べてしまった人はおりませんでした。三学期は新校舎で試食会を行う予定でしたが日程がありませんので予算分保健室に体温計を贈る計画です。





# 日曜。ペンキ屋で 奉仕作業

## 環境部 高原寿一

三学期も残り数日となりましたが、日頃から「教育環境の改善と充実」を目標に努力しております。五十五年度は、校舎建設の為、運動場が資材置場に使用され、すごく荒れるだろうと思っておりました。その時の成り行き次第で（運動場の整備）奉仕作業をしなければならぬだろうと計画しておりましたが、建設業者の人達によって、完全と言ってもよい程に整備して下さいましたので会員による奉仕作業はすることありませんでした。部活動としての報告は二回に分けて岩石園附近の欄運動用具・教室の戸のペンキ塗りを参加者と楽しく作業を行ないました。一回目はサビを落し、サビ止めを塗り二回目にはペンキを塗り仕上げました。何分なれない事で作業には大変気をつけました。材料もまだ残っています。全体の半分程しか作業が出来ず心残りですが、先日より、バザーで皆様方にはいろいろと御苦勞下さったことあることだし、今年度は残り数日の為、これ以上の奉仕作

業が出来ないことを心苦しく反省します。誠に申しわけありませんが次回にお願いいたく思っております。今後も御協力下さいますようお願い致します。

最後になりましたが、奉仕作業に多数参加・協力いただきましたことをお礼申しあげます。ごくるうさまでした。

## 親の手本が第一

### 交通部

#### 矢加部 美智子

交通部会の役割は子ども達に交通安全がいかなるものかを指導し、交通災害から守ることだと思えます。

十一人の部員全員が初期の目的を達成するため、精一杯の努力をしてまいりましたが、各自がそれぞれ生活に、仕事に、おわれている現状では充分な時間が得られなかったようです。

幸いに、この一年、当児童においては、重大な事故の発生はありませんでしたが、横断歩道外の通行、自転車の二人乗りは、未だに目撃します。五の日の指導日に安全旗を持つて交通安全整理して思うことは、低学年ほど規則を守って、高学年になるに従い、ルールズになってくるのは、そ

の父兄が更にルールズなためではないでしょうか。

子ども達を指導する前に私達自身が、もつと手本を示すべきではないでしょうか。部会としての行事としては、自転車の総点検を実施したにとどまりました。

もう少し具体的な行事をもちたかったのですが、交通安全という仕事がいかにむずかしいものであるか、この世に車がある限り、交通災害は絶滅しないのではないかとさえ感じさせられたこの一年でした。

新年度交通部会の方々のご活動を期待いたします。

## しつけ教室の徹底を

### 教養部

#### 中山 博喜

教養部は、島三小道徳教育研究に呼応して、家庭でのしつけ教育のあり方を求めて、次のような活動をしてまいりました。

- ①伊万里市の東小代小学校の道徳教育の視察
- ②生活部と共催の町内訪問
- ③学級部と共催の江島校長の教育講演会

以上の活動の中で、道徳教育の中心は家庭にあることをあらためて自覚させられました。最近の子ども達の非行、暴力事件が多発する現状の中で、家庭と学校とが如何に連携を深めることが大切かも認識させられました。

本年度も町内訪問は続けてほしいとの要望が強いようです。来年度は、もつと魅力ある内容を考えて、開催しなければならぬと思えます。

それと同時に、会員の皆様も、町内訪問をただ単なる学校参観の延長と考えず、夜、という利点を大いに生かして、お父様方ももつと多数参加していただき、学校との対話の輪を拡げるため尚一層の御協力をお願い申し上げます。

なお、今後の活動のあり方について、御意見がございましたら、お聞かせいただければ幸甚に在じます。

## 水泳教室の中止が残念

### 体育部

#### 山下 利秋

祝賀バザーも終り、今年度もあと一ヶ月を残すのみとなりました。一つの行事に取り組み、部会の開催、準備、そして当日の大会と少しでも会員皆様に満足して頂けるよう努力したつもりですが、終ってみると、皆様のご期待にそうような配慮が出来たのかと深く反省するような事ばかりでした。救急法の講習会、ソフト、フットベースボール

のルールの説明会、子どもクラブ対抗球技大会、育友会町内対抗バレーボール大会、親子フットベースボール大会、そして市ソフトボール大会、市連Pフットベースボール大会、市連P駅伝大会と、今年もいろいろあったなあと思えます。新校舎建設の為、運動場が使用できず、球技の練習が充分出来なかったことで、

各町内、多少の問題点がありましたこと、水泳教室を行なうのことにいたしました。天候が悪く中止せざるを得なかったことは本当に残念でした。それに致しまして、各行事のほとんどが、盛会のうちには会長はじめ、体育部の方々、会員各位、諸先生の御協力のためものとして、深く感謝致しますと共に、大過なく此の一年間勤めさせて頂き有難うございました。

# 人生の勉強に感謝して

六年

春三月、足もとの草々も意気陽々と芽を吹き出し、それぞれの美ほこらし気に輝やかせている子ども達もまた、六年間の課程を終え、一人一人の無限の可能性を秘めて巣立とうとしています。

昭和四十三年以来三小育友会員として今日迄十三年間先生を始め皆様方とお付き合い

出来、いろいろ可愛がってもらい私にとつて尊い人生勉強させて頂いたと有難く感謝しています。会員に、

## 三小ならようさ

### 走馬灯のように

思い出が...

六年 田原 ミツキ



走馬灯のように思い出をかえり見れば、桜の花が咲くころ、手をひいて、三小の門をくぐり一年生に入學したあの頃が目に浮かんできます。何もわからなかつた子ども達担任の先生が決まりよいよ一年生が始まりました。一、二年古賀先生、三年荒木先生、四年丸山先生、五年、六年板倉先生と、いい先生に恵まれ、今日卒業お別れとなりました。かえり見れば、い

ろんなことがありました。ただ、走馬灯のように、消えては浮かび、浮かんで消えてしまします。四人の子どもを卒業させていただき、ただただ、頭がさがるおもいです。ご迷惑をおかけしたばかりで、何一つ出来ず、今では後悔しております。校長先生をはじめ、諸先生方、そして会員の皆様には、大変お世話様になりました。体育館の落成式、三小の百年

松下 肇

はいった当時、育友会長は、山本篤五郎さんでした。その後、吉田重信会長、本田武彦会長、前山四郎会長さん、皆それれ活動と先生との関係は日本一だと誇りに思っています。こんな環境で勉強が出来るといふ事は三小の子ども達は幸せだと思っております。特に私、育友会員最後の年に役員に引立てもらい有難とろございました。

# 子ども達とマラソン

靈南

「アツクしもうた。寝ぼけたよ」と目覚まし時計を見る。六時半である。「あつ、そうか今日は月曜日でマラソンは休みみたい...」

月曜日の朝の一人ごと...島原に来ての三年、長男が六年、長女が三年の時であった。着任三日目に長男が町内ソフトボールチームに入れてもらったと報告して来た。それから時々練習を見に行き、監督さんの手足まといになった。こうして町内の子ども達とのつながりが出来た。

朝六時起床、それから三々五々、六時半まで子ども達が集まって来る。ラジオ体操をして公園や白土湖水までの往復毎日二、三キロくらい走る。帰って来て、腕立て伏せ等して七時に家に帰る朝食をすま

祭、それに、この間の忘れられぬ三小バザー、先生方、会長さん、はじめ代議委員、会員の皆様、御苦労様でした。本当にいい思い出になりました。いろんな思い出をあとにして、卒業させていただきます。今後子ども達のために三小の伝統を守って、ますます頑張ってください。さようなら



伊藤 季彦

せ、集団登校を見守る。子どもたちが学校から帰えって来る。男子はソフト、女子はフットベースボールが夕方まで続く。このくりかえしである。日曜日は、島原城まで走り、城内で「松カサ」の投げくらをして帰る。第三日曜日は五時半起床、六時まで江東寺に集合し、七時まで座禅がある。終わった時は足がしびれてほとんどの者が立てない。それから八時まで掃除して監督さんの家で「ぜんざい」のごちそうになる。子ども会の行事は年間を通し、切れ間がない。町内代議員二名ではどうしようもないくらいである。女子の行事が少ないので二名で男子と女子を分担して見るようにした。これは良かったと思う。今は町内のお母さん達の協力

が優勝出来たことは、何もこの大会目ざして練習して来たわけではない。毎日毎日の結果である。

今回、駅伝大会に男子(A)が優勝出来たことは、何もこの大会目ざして練習して来たわけではない。毎日毎日の結果である。

今年には道徳教育モデル校として、道徳教育推進に学校も家庭も一致団結して取り組んで参りました。家庭生活実態調査、新入生だけの生活実態調査、それと昨年に引続き町内訪問懇談会等で紙面を埋めつくしましたが、何かお汲みとり頂ける点がありましたでしょうか。また、先日は新校舎落成、落成記念祝賀バザーも大盛況の内に終了しました。六十一号発行に對し、バザー等でおつかれのところ、ご投稿にご協力下さいました皆様

## 編集



後記

広報部 馬場 武弘

浅学非才の私が伝統ある「がんば」の発行をお手伝い始めて、アツという間に一年間が過ぎてしまいました。この一年間、会長さん始め育友会の皆様、また、先生方の協力でも無事過ぎて頂きました。ありがとうございます。本年度最後の六十一号の編集も終わり、この一年間を振り返り反省致しております。

が大であり、大変なすかっている。こうして毎日の早朝マラソンを行うない低学年も参加するようになり、少しづつ体力をつけて来た。うれしい事は、無口の子がみんなと一語にする事によつて性格が明るくなったこと、お母さんの手をかりず、朝六時に起きられるようになったこと、また、ソフト等毎日するので自分で時間割りを作り学習の時間を作ったこと等である。